

むをきらうればあり。⁴⁷ そのときべてありひけり、このひと
びとへすぐよされどのひともきるみまをうけよされ
えびときなとてこれもあげめとひけせしむるものあつみや。⁴⁸
つりよゑすなりすとのあよせりとあげめとくくべきことを
めねじよめりす。こうよおりてめねとべてあますとりとがまんえ
こととねぐへり。

第十一章

おーやうち および ゆだやぢうよ そる きやうだらうち
りともかみのことをとうけーことととまへるなり一ヶ、⁴⁹ べてろ
あるきむよの行りーとまのうれりのゆわどもひれとあどりて
りひけり、あんぢんのうれりあまひとのりくよりりとこれと
とくよあもよせーぞ。べてろこのことよつまもトメありあが
りよのびとひけり、⁵⁰ これよせのあちよありてりのるとき
きとうーあひ あがろよおりてよすきをつりくらおあひある
あまゆれとじときひじうのうらものてんよりくがりとこれよ
ちうあるとまうり。これこれらよりとめきとつけてその

うちよちのよりあーのゆれ、あよき けめれ、もふゆれ および
きとのとりあるとまうり。⁵¹ めりせれよ、べてろよ、おまそこうー
くとくとひくらこゑをきまうれば。⁵² これりくり、きまよ、あり
トす、きよくとせらゆれとあけりあるゆれりいよさめりとひけ
くらよりりーことあーと。⁵³ こゑあくよびてんよりこれよ
こゑへけり、かみのきまめくまふとくろのあれんあんぢ
られをきまうとすとするあれ。⁵⁴ めくのだときことまうびよ
ーとすべきのゆれあくでまよひきあけとれり。

11 こゑ、そのとまめいきりよりこれよつうをきれるゆの
きんあんきまうりとひけをりーとくろのりくのあくよくちるうり。⁵⁵
みくす こゑよ、うーがをもすとひれととくよゆけとめり
せり。あーとこのろくあんのきやうだりゆれととくよゆけと
そのひとのりくよりれり。⁵⁶ めれじねとよめうりてひけり
ちふのつうひのひけりくよまくよまうり。そのつうひこれよ
りくり、ひとよせへつうもとべてろとりくらおもんをよべ、

¹⁴ めれあんぢねあびあんぢのめきりぢうのすくをるべきこと
をあんぢよつけふと。

¹⁵ さてこのめきりそめーとまきまきみくまもとてめこねとよ
くさりーごとくのれとよもくさり。 ¹⁶ こまよねりてこのまの
ことをすあそちよはねら 三げよおりとあげめたり、されどあえ
がうけまきまきみくまよおりとあげめたりと、されどあえ
おむひりがせり。¹⁷ からくまをきりすとをあんするところの
きりよみすみすとあくへ さとくのれとよもおあトさあむ
れとあくへ さおひよされうれあねばかまとこをむことを
えふや。 ¹⁸ めれとこのこととまきてあげめりからかまとあげ
めてりひけみへ、さとばかまのりとくふゆりのちをえきせん
くめよくひあとうめとあくへ さおひることとあくとあり。

¹⁹ さてせめーことよつておこりーとくろのせめよよりと
ちづくねるゆのともふにけくぶろ、あんておきあまをゆまと
ゆだやびとよのとをくわせり。²⁰ のれとくうちよくぶろと

これねのひとびとありてあんておきめよりくりぎりああことをの
ひとよめうりとまきとゑすのさりそりのおとくねとのぐさり。
²¹ まきのうめれととゆよもくとまーうべおまのひとびと
あんべてまきよつけり。²² このまくえあゑきむよあくきやう
くさりのまきよりーうべつりよばるあはをつらもーとあんてお
きあまをゆうーむ。²³ めれすくよりくりかまのめだまをみて
ようこび、すべのゆのよこくうをのまかーとまきよすぐと
こととすくめくり。 ²⁴ ばるあはいよまひとよーとまきよみくまと
あふくうのまくらのゆのあり。まきよおりとおまのひとびと
まきよくまくへくれり。

²⁵ ときよばるあはまうとくうねるとてたるそよゆまーぐめれよ
あふてこれをあんておきめよつけまくられり。²⁶ やまてのれと
りちねふのあひよまくまくのととゆよあくおりとおあせりの
ひとびととをくへくり。でーまちあんておきめよおりともとめて
きりすまくふととあくへくる。

²⁷ そのころあるよばんいやうちあることをむよりあんておきあよ
くぢり一ヶ ²⁸ そのうちのひとりあがほとりぐるゆのうちをみす
あよよりあめーけむへ、くわぢうよおもひあるきくんあとふと。
そのこともう一とくふうでのとまよおひりうり。 ²⁹ これよ
おりてでーまちおのあのそのちうとよあらぐかてゆだやよをる
きやうぢりよこすけをねくじんこととせたが、 ³⁰ つりよこのれを
おこあひそばるあばとさうるのてよくみてこれととーより
どあよおくわり。

第十一章 そのころへろでことうまやうくらのうちのあらものと
くまーめんくめよとくらがーとやくをとめりてよはねのきやう
がりやこぶをこうせり。 ³ めねゆだやびとのこれとよろとびーと
うそあくべせととくふとせり。そのとまはばながねあま
はんとあくすまのひありき。 ⁴ すゞよこれととくふとちう
やよりれ、すぎくーのあくらののちたまのあくよひきりが
きふとあもひ、よふんひとくまのよくまのへりまくよこくーと

こねをああトーメアリ。 ⁵ ゆくべてろんらうやよあゆトれーヶ
きやうくらのめれのくめよひくすとくまよりのれり。

⁶ へろでわれをひきりがまんとするあくのよべてろんあくうの
くまうとめりてつあぐれ、あくうのへりまのありがよねむり、
らうがんもとのあくよありてらうやをあまりあらり。 ⁷ その
ときくよ、かまのつらひあとをれくらちてひくらうやとてトす。
かれべてろのこまをくまきこねをさすーと、すまやうよおま
あとりひければくまうりそのてよりとねむり。 ⁸ つらひのれよ
りひけくら、おびをあめざうりととけ。べてろこれとせーうべ
つらひあく、うもぎとくよあとくとくねよあくくとくくり。
⁹ べてろりぐくめれよあくぐりゆきーヶつらひのあせーとくうん
あととあるとあとく、さとあがうーとミーあとふとおかぐり。
¹⁰ めれトどくいぢよのやくーよとすきてあらみりるところ
のてうのゆふよりくりーよそのゆんおのけうとのれど
あよひトケーうべふくりりぐくひくのとありとすぎーとま

てゐるつくりは、ハヤシは、ペトカをもあがへる。11 ペトカ おひりと
えりひけふく、おひそかのつくりとつうもーとへらでのでと
ゆだやのたまのすゞぐのざるよりおれをすくひうだせーことと
おれいああよとよある。

12 めれめくおゆりつゝまるごとりくらよはねのはくあるま
あのりくよゆかひり。ウーとくらおあそびのひとびとありありと
りめりをれり。¹³ ペトカ ゆふのととくまきーときわだとあけ
くもおもめさげねきうちふととくまきーよ、¹⁴ ペトカのこゑあうと
ありよろそびのくめよゆふをひとうす、うちよそりゆきと
べてろ ゆふのあくよそりとつけたり。¹⁵ ひとつめよ、ある
ぢんきうちぐひありとりよ。されどをゑあんめくありとりひ
はる。ウカトりゆけみ、またばそのてゐのつらひあよえ。
ペトカ くまきーやめざりければめねとゆふをひとうめねを
みをおどろきたり。¹⁶ ペトカ てとうだく一めねとをあづかうとせと
くまのゆめれどらやかよりりくらよとひとうりやせーうをめなり

ハナタリモアーニモトドキナリ。
20 ヘロておなじよつたとあどんのひとびとをりよりければその
くわのゆわんとうのちよよりをあふくありとうるゆゑよこく
うをあもせそ。われのゆとよりなりとうのそをやくわんぶく走
とくおまへとあーとやまとぎをゆとめり。21 ヘロてさゞおり
さるひよおりてとうのこうゆをきそのくわよざーとのれとよ
さとせり。22 こゑよおりてたとこゑをあけそ、これかみのこゑ
あり、ひとのこゑよあとすとりぐり。23 ヘロてわおわをかみよ
あせざるゆゑよかみのつらひうちすち。われをうちへうべ。われ

むーよ われと いはる くさんなり。

²⁴ さて かみの ことを ますます ひうあれり。 ²⁵ ばるあばと さうろへ
つとめの ことを どもりければ まること いくる よはねと とめありて
ある さをむ よりめへりそり。

第十一章

あんておきあの きぬうくらりの うちよ よけふいやと
きぬう あり、すあもちばるあば、にげると いふおめおん、くれねの
さきお ある こくしゆ へらでと とめよ そぞぞとぞぞくらる まあえんおふび
さうらあり。 ² われと かみよ つうくと だふドモ する とき きふき
みふまりひけり、なげ くめよ ばるあばと さうらを えとび そけて
なげ われと よめりする ところの つとめを さくしまる。 ³ こくよ
おひて どうふドモと いのりと あー てと その あひりの うへよ
おキと これと ゆうへり。 ⁴ われと さとまみふきよつうを されで
せる きあよ うぢり やーと おり くぶろよ むうひと おゆの きみせり。
⁵ われと さとみせよ いはり けだわびとの くきの どうすて かみの
こと きの の ぐらり。 われと くすくる ゆのとーと よはねぬ これと

ともよ あり。

⁶ われと おおの うちよ とめり。 ゆきと ばがよ いはりよ ある
うと あひどや すあもち ばるあせと あひくら ゆだやの いりくをりの
あけふいやよ あへり。 ⁷ われと せるぎおばうろと いふ やーと きひと
ある くみの さりくをふと ともよ あり。 ⁸ なりくをん ばるあばと
さうらと あびて かみの ことを きくふと あひせーぐ ⁹ その うト
あひドや えらま がりくをふと てこの あひううの みちよ そむく
くめふと うめーと われと はくらへり。 えらまと いふ あと とけぐ
うと あひドや あり。 ¹⁰ その とき さうらと いくる ばうろ さくよまみふく
あよ さくよまみふく あと
りくをりと さくよまみふの みくら もの、 ざくよまの あ、 すべの
さくよまの て さくよ、 あんぢん さくみの すぐある みくらと あくよることと
やめざくよ。 ¹¹ さくよ、 いあ さくみの て あんぢの うへよ あり、 あんぢ
めくらと ありて あんぢの あひど ひと みぢる ベー。 さくよ
その めよ さくよ みくらと くじと ければ われ わのれと て びき

するひととゆじめつゝおまよみちひり。12 さうのくさんそのあり
こととみ、まみのをへんとおどろきてこれとあふせり。

13 ばうろおまびそのとゆぐとばやよりああびーとばんふとあ
べるげよりみりければよはねんかれととあれてあるきをむよめく
れり。14 めれとべるげとさりてびせてあのあんとおきあよりみり、
あるをくあらよくさりどうよりりてざめり。15 おまくとよけふ
しやのあみとよみをめりければくさりどうのつらまめちひとと
めれとよつらもとてりひけり、まやうらりよ、ゆーたみを
すむむることをあとばめくらべ。

16 ばうろまらてとうじうしてりひけり、いせらえのひとびと
おまびかみをうやまふゆのよ、まくづー。17 このいせらえの
たみのかみこれとのせんぞくうとえとび、そのたみのえおぶとの
ちよやどるときこれとあけめらつまきうじとゆりてこれと
りづー。18 おまをあらうねんのありどせよおくりてめれととりづま
やーあひ さすへり。19 あるかんのちのあらーゆのたみをあう

がーそのちとせけておよそあひやくとトうねんのあひど
これとめれとよつづーあり。20 のちさをまやんとあらんと
いやまえのときよまでりくれり。21 これよりたとくうと
ゆとめけれかみこれよおトうねんのありどべにやみんのぞうの
ひとき志のむすおさうとあくへり。22 あるめれとありぞけだ
てとあけとめれとくのくうとあー、めれのまめよあらーとあーと
りひくおひける、これあさいのむすおだびてとりくらむぢく
うよめあひひととえく。めれこととくとくせきめむねをあすべー。
23 わさんやうそくよおううのとこのひとのすゑよりすくひゆ
ゑすといせらえのあけとすへり。24 よはねんそのまうるあくよ
あらうひあらうめのあらめをいせらえのすべのたみよせり
きやうせり。25 よはねそのつとめをあれとふするときよりくり、
あんぢうれこれとされとおもかや。されれめのひとよあとす、
されどもよ、さげあとよきくらるものあり、されれそのあーの
ざうりととくよめくすへり。

²⁶ひとびとさやうたり、あがらはむのすきおよびあんぢうのうち
かみとうやすゝものよ、このすくひのことをいあんぢうよおこト
れらるあり。²⁷あらきをもよをるものねよびそのつまさららんその
すくひのとあんぢう、あくあんぢくわちごとよよせとくらの
よけんしやのことをいさとくさよよりめれとこうしてその
よけんととげたり。²⁸めれとその一よあらのゆゑとをすと
りくどもめれをこうさんことをいびとよねぐへり。²⁹すでよ
めれよつりをあくさくれることをことごとくをもりへうべれを
きよりねうーともうよもうれり。³⁰されどかとこれとしより
よみぐくとせさまへり。³¹めれへおあくのひのありどめ里トい
よりめれととよあるきをむよのがりへる ものよあともれしげ
われじんりおたまよあうーとあすものあり。³²めれとこのよろ
こびのねとげれとあんぢうつぐ、かみへあすとよみぐくとせそ
せふをくわよとくとくおひへやくをくとそのおぞえ「あるこねと
よとげさまへり。³³おのだりお魚ふ魚ふよめくのじとくあるくわ

さり、あんぢへよぐむすおあり、これけふあんぢと、うめりと。
³⁴あくさくられよきせぐるさすよめれとしよりよみぐくとする
ことよつりてくわくりへり、りそく、これだびてよやくをくせ
とくらのさーうあるきみかめくみとあんぢうよあくへんと。
³⁵あくあるとくらよりへることあり、ああくおのれのきみく
みのせーとくわれきとくめなど。³⁶だびてれかみのむねよあく
ぐわくおのれのあだりのひとびとよつうへうげのちねむりと
せふをくらととよおうれめくつうへうげのちねむりと
よみぐくとせくわくへとくらのむねくわれぎりき。³⁸このゆゑ
よひとびとさやうだりよ、つみのゆゑーとあんぢうよのがくい
このひとよすみとあんぢうあれ。³⁹めくらあんぢうもうせのねす
くとくのまくさくへとせふをくこととくをくらつみりくをく
あくすびとあんずるむねくわれよよりてゆるくわくわくへと
せふをくらるあり。⁴⁰さればあんぢうつうへめよ、おきくくわよけん
くわよのりひーこと「あんぢうよ」のぞおん・そのことをよりくく、

⁴¹ あるどる ものよ、あるぢと みておどろきめり わらぶべ。りうち
とあれびひと あるぢとよ つぐみと りへじも あるぢと あるト
えさる わどの 口どと され あるぢと とまよ おとあへば あり。

⁴² めれと ひぐる とき つきの あるぢと あるよ あるこの しへを
のべん ことと おいやくらよ ねぐへり。⁴³ ありあり すぐよ ちりと
ゆだやびと おあびゆだやきやうよりりくる あるぢと あるき もの
おやくばうると ばるあばよ あくびへり。この ふくら みれとよ め
りと かみの めぐみの おさまと どあん ことと すみめへり。

⁴⁴ つぎの あるぢと あるよ カとひと あるぢの もの カみの こと
をと きくと とと ありあり さくへり。⁴⁵ あれど ゆだやびと その おな
せりと みと こくらよ ねぐみと みと ぱうるの りふと とくの
ことよ さくとひ こをみと これと そへり。⁴⁶ その とき ばうと
ばるあはもをうと まへて ひけむべ、かみの こととひ まげ あるぢ
とよ のべる べき あり・ ありうよ あるぢと これと すくと
みじうと あがり あき りのうと うよ まとと まとめ一 ゆゑよ、

ミよ、おれじん もきを ひぐみよ めん。 ⁴⁷ そん まこと あく ひれとよ
めいと さすへり、ひそく、おれ あるぢを さすへり ひぐみの ひうりと
あせり、あるぢ ちの そくよ まで すくひと あくと あるよ さめ あり。
⁴⁸ ひぐみと これと きくと おうとび ひく まこと ことをと あぐむ。
あるかぎり あきりのちよ さくめ うる むのへ まよ あるよ さくめ
⁴⁹ こまよ おひと まこと ことと あおねく その やとりよ ひうり
れり。

⁵⁰ さねど ゆだやびと あるぢと ある さよと き さん あるぢ おあび
あるぢ おあびらう ものと すくめ ばうと ばるあばと せむる
ことと おこうと これと その まこと おり おひ ひぐせり。⁵¹ さて
あさりへ われとよ むうひ あーの ちりと うち まじくと いこにおよ
りまれり。⁵² めくと でーさうへ ようとびと まよ みよ あよ まよ
れり。

第十四章

その あさり いこにおよ きる とき とよよ ゆだやびとの
くさり どうよ りり そーへと のべて ゆだやびと ぎり おあびとの おな

この ものと あんせしめり。 2 あんせしめる ゆだやびとへり どんと
すみめて その こまくよ きぬうづりどんと うじおーめり。 3 やくそ
あふりんひくーく ウーとよ とくめり、 まくよ おりて まくらうす
をへんと のぶ。 まくら めねとね てよ お内と あかーと あーぎの
こぎと おとあひ その めぐみの ことをよ あくーと あくーめり。
4 あらの ひとびと あくらよ えうれと ある ものん ゆだやびとよ
あくら ある ものん あー やくらよ えうれぐり。 5 りどん ねあび
ゆだやびと その つうくらと とくよ おなまき まち あー やくらと
もくらーめと これと いーよと うまんと せーよ。 6 めれとへ これと
さとりと おおに あらの あらの あらの あらの あらの あらの
ともよの がれ、 7 ウーとよ おりと あくらんと のぐり。

8 るきで らよ ひとりの あーあへ あり、 めれは その うりあい
おり ちんを おーして いまだ あくと あゆみー こと あき もの あり。
9 こめ ひと ばうろの めぐみと まく おむりーぐ ばうろ これよめと
とめ、 その りゆきる べき あんらう あくと みて、 10 あんらう あー

よそ あいすくよ うくよと おおだらよ ひーくば めねねどりあぐ
りと あゆめり。 11 おおせりの ひとびと ばうろの あせー ことと み
けれど るおおに あの ことと がよと こゑを あげて、 かまくら かふ
けんの めくらと もりと こねとよ のぞめりと いぐり。 12 めれと
ばるあばと せせせと とくへ、 ばうろん わのがと みくら ひと あよ
よれて こねと へるめと とくへぐり。 13 こまよ おりと あらの あくよ
ある せせせの せせー とくよ うくぎりと むちうーと おふよ ひま まく
りと ひとびとと とくよ うくぎりと さくげんと せーよ 14 あー や
ばるあほと ばうろ こねと まくと おわれの こうよと まく ひとびとの
うちよ かけと まく おむくらと ひけん、 15 ひとびとと あん
この ことを あすや。 おれと りひとと あん ひとと おあト
あやうの もの あり。 おれと あん ひとと その もあーき もおと
あり がけと てんと ちと うまと その うちの おん もうとと つくり
まく ひける かまよ まする やうよ あくらふと あん ひとよ のぶ。
16 すきー よま おりと かま かま くわくわの たまの うくらと その まくと

あゆむこととゆくやーとおぐり。¹⁷ されどもあらぢトをめぐらして
てんよりあめをふとせ、みわりのとせをあらへ、およくもとと
おちうびとゆりてあらぢとのことうをあまかとーめをきぐらと
そのあらーをせぎりーことあー。¹⁸ あまのあーやこれとの
ことをうてやうやくたまのおのれとよりけふんをさしげんと
するをとくめうり。

¹⁹ ときよあらゆだやびとあんておきあといこにおよりきうりと
おわせりのものとすくめりーをゆりてほうとうせ、のれ
すくよおちうびとゆもひてこれとあらのそとよひきいがせり。
²⁰ されどでーうちゆれのあらりよあくありうちーよほうとおきと
あらより、あくらひばるあはととめよてるべよゆけり。²¹ さて
そのあらよあくりんとのべとおわそのものをでーとあーされば
あくらきてら、いこにお、あんとおきあよゆくりと、²² でーうちの
ことうをゆくかー、そのつねよあらうよとくあうれことを
すくめ、あくヨクれどんおわそのあやうよゆりてかまのみくあく

りるべーとせーくふり。²³ そのあくりきやうくのいふとよとー
ありとくと、ゆのりとくふドキをあーとこれをそのあんずる
とこうのきうよゆくねうり。

²⁴ ゆねトびしであととありとばんあとあよくねうり。²⁵ あくべるげよ
をーくとゆのべとありたとあよくねうり。²⁶ セーとよりゆねトゲ
りよとけーとこうのつとめのうめよかまのめぐみよゆくねうり
うるとこうのあんとおきあよむうひとゆゆにせんせり。²⁷ ゆねト
すくよりうりきやうくのりとあつめとかまのおのれとくす
けておとあかーとこうのすくものことあとびよあんううの
ゆふとゆくふよひくきくまひーことをつけうり。²⁸ のくとでー
くうととくよゆひくーとくまねうり。

第十五章 あるひとびとゆだやよりきうりきやううりとよをー
くと、あらぢともうせのあくもーよあらぢとゆくねうりとく
くよあとぎねばすくひとえふとりくり。² これよよりてばうろ
ばるあばゆねトとおわのよあとをひのくろふとければきやううり

とあることよりつくりてはうるとはるあはおふびそのうちのすゑん
をあるときむよをもるる一やまちと一よりどものゆとへの行ト
せんことをさくめり。 めれとまやうへといよりおもてれて
かいにけとままりあをとあるとむりいんのめりへふへらることと
つけとすゞそのせんやうびりをおなひよよろこむがーあり。 めれと
あるときむよつたりーうべきやうへいり、あーゆみち、と一より
くらはむらぐれ、あーとかみのめのれとをさすけとおとあ
ひーとそろのすゞそのこととつけり。 たりまーうのあん
じやすかんくらてりむけり、めれとよめりれりとうけきを
めくわせのめきとあることをめりキベキあり。 あーゆ
くらおるびと一よりどもこのことをもうるるめよあくありて
まうんおわうりーとむべてかくらをめれとよりむけり、ひと
ひと、まやうびりよ、かみひきーかくらをよあるぢのうちあり
されをえとびりだんをしてなげくらよよりあくいふをきく
あるせーめをあひーことをあるがくある。 めくひとのく

うをありまよかのからみたるみとされしよくすり一
じとくめのれいゆあくべのれいのうめよあらへてあせり。
あるがんううよよりそそのこくうとくまのうり、のうじれいと
めのれいのうりよよくうらとあがむう。 10 りまあるをかくと
こうううせんぞくのれいのれいおふこととえくのうびと
でーどきのうびよおへり。 11 じれいとくすくまのうすの
めくはよよくとくわくとあるす、のれいのれいよよりそすく
くくあり。

12 こゝよ ありて ひとびと まき 代ありて ばるあはと ばうろぐ
かみの われどよ おのぞ うふの うちよ けうある あるーと
あーぎの ひきを おもひーうを みくらと まけり。 13 ひを そりて
のちやとが のくりりひけり、 まかう うらがわよ、 ひれを まけ、
14 かみ そとみて つぶの うちより われの あを あけむらたまを
えみぐらめよ これと つくりと まかひーことへ おもんすぢよ これを
のべり。 15 おける一やの ことを これと あくり、 すゑもち
のく

あるがれり、つもく。¹⁶ この のちこれのへりをだびての すゞよ
さかねる あくや。ふくらひおとせん、その くげれらる ものを
おこして これど ふくらふせん。¹⁷ それのとりのひと すみそち
ひで あそ ものと とあくふくす すびの くわの たまは まくらと
さげねきせんが されありと。¹⁸ よの まへ より「おのれの ひきと
ありそ これとのことをおこあふ ところのかことこれをりひきあふ。
この ゆゑよ ひで さげめんとする ところへこれ あり、これト
りとるの うち あり かくよ きする ものを ヨグトをすべうトす。
¹⁹ こど わねどよ あそと おこりて、ううさうの けぐれ むれ、うれ
くう、あめくうーくの むれ、おふび らをりすーむべ。²⁰ それ
むうー あり くきのどくよ おりと あんそく みち ごとよ もうせの
ふみと ふみと これとの あらゆの あらそらよ あれ あり。
²¹ こくよ おりと あーや おふびとーふううまち まやうまなうじうと
とあよ その うち あり ひとと えとび これと ばうると ばるあばと
とあよ あんと おきあよ つうとす ことと おーとーと、まやうじうの

うちの おゆき もの ある ばる さばと りくら ゆだと しよと つうとー。
²² わねどよ まくー あそと おこりて りくく、あーや、とーより
おふび まやうじうの あんと おきあ、せりあ ある まくー
くの まやうじうの まやう やすきと うきよ。²³ こくよ ひで めひせぎう
とくろの すさん ひねの うち あり うぐい ことを ものと ある
ひとと ひげととー あんじと こくよと まくよと まくよと
²⁵ ひねと こくよと あそせ、ひとと えとびと ²⁶ ひねと まくよと
まくよと あひ まめ ひのちと あやう まめー もの ある ひねと
あひする ばる あばと ばうろと とあよ こねと あんじと つうとす
よーと せーよ よりと 27 けだと しらの あひりと つうとす。ひねと
くちげうと これとの ことと あんじと つけん。²⁸ さの ひんよう
ある こと する まち ぶう まくよ まくよ ひー むれ、も、ある あめくう
くうる むれ おふび まくよ まくよ ひー りおーと べき ことの ううら あふ
もも あんじと まえ おもせ せぎうと まくよ みくすと こねと よーと せり。
²⁹ あんじと ゆー これと の ゆれと と あきけあび よくすと あす あり。

ねぐまくへ、あんぢト やすうれ。

³⁰ めねト つうをきれと あんとおきあよりうりひとびとを あらめそ
あきと こく一 けりべ ³¹ めねト これと あきと そのあくまめを よろ
くひへり。³² ゆだと しらゆ おけふへや あれべ おわくの ことをや
めのと あやうびりどもを すみめて これと のまふせり。³³ めくと
あうりへ あをとくと とくありと あやうびりむらより やすきを あく
うれて、これと つうをき一 むのと あとへ おもてねへり。³⁴ ばうろと
ばるあばへあんとおきあよとくありと 35 わうの おあくのひとと とも
よをへん やう まみの こととを せのきやうせり。

³⁶ わど つこのちばうろばるあばよりひけくへ、これと あくまみの
こととを せのきやうせり とくうの あちじとよ ゆきて
あやうびりの ありきを みへりまんと。³⁷ まそ ばるあばへまること
りくら よはねと ともあひ ゆうふと おもへり。³⁸ まねと ばうろん
ばんか里ありおのねと まあれと ともよもくと まよ ゆうびり
ものと ともあひ ゆくよ まくと せり。³⁹ こくよ おりと まくと

あトそひ おくり さうひよ こくうれと ばるあばへまると ともあひ
くがおよ むうかと おゆのせんせり。⁴⁰ ばうろん しととをとびきやう
づのとくより まみのめぐみよ ゆうびりとれと いと うち せりあと
きと きあと とくりと あよきやうくとくを ゆくふせり。

第十六章

めくと ばうろでるべと おきてらよりうりーぐ まよ、めー
こよ て もてと あぐくの ひどりの でー あり。 めねひ ゆだやの ある
する そなみの むすあひーと その ちくへ せりおの ひと あり。
² そのも てへらせてらと じこにおの きやうびりくらの うちよ ま
まくと ある もの ありーぐ ばうろ めねと ともあひ ゆうふと くり
ーと ゆーこよ おる ゆだや びとの まめの ねよ めうねのと おこあ
へり。 けぐー めねと まき その ちくへ せりおあひと あくと あれり。
⁴ そのも あうりへ あらあちと とくりと ある こむよ おる おー よ
びと あうりくらの がくめくらめりれりと でーとくよ あゆとせん
と こねと さくび。 これよ よりと ある まやうくらの あふくうの
うちよ まくわせとれ、めう そめの めすも ひくよ ませり。

6 やれトある事あとせふとあわちをとあるときあおあよを一
くをのからことをかうるみくまよきんせとれと、むおあよりく
り一ヶ多くびてにあよゆうふとせしよあすのみくあこれをゆく
さうじりゆ。8 こねよよりてむおあをすぎてとろあせようどなり。
9 ばうろよるまがうーまおりそひとりのまけどにあびと、おのれよ
ねぐらと、まけどにあよらうり。これとそなまくよとりくらを
ミマリ。10 ばうろこのまがうーをミーのちさのものあとづれを
めれトよのからくめよかきこれとめーくまのーことを
きれとさとりてさうぢやまけどにあよゆうふとせり。11 こねよ
よれとこれととあせよりあをぐーとあいすぐよもーりてまも
てらけよりさり、つぎのひねあほよゆき、12 そとよりまけどにあ
のりちぶらのねああるまちをとほよりくわり。のーとんあまく
きんちあり。これとひきーくそのまちよとげきわり。13 あまをく
あらよこれとあらのゆんよりりぐーのものやとりあるつねの
りのりがよゆきと、あくすりくらをくあくさくよせーとみことを

ゆきり。14 こゝよ るあと あけくの ひとりの さんを あり。
のれいもとさきの みれを あまめふ てあてらの まつのか あきうどまそ
かまを うやまかの あるうじよ かへる おひりよ まとも みれだ はう
るの みる ことよ まと つくる やう その こもろを ひづき まお
へり。15 めめぞくと まよ あげめを うけ て のち まねくよ ねがひ
りめけるへ、もーこれを まきの あんどうと おもせば まぢりくよ
まくらと とどより まかくと まのと まのと まれと まくらめくら。

16 のち まかくと まのりの まよ みけたと ま うじまひの まよよ
よしれ、うじまひよ よしれ その あうどまよ おなごのりと ま
けさせまる ひどりの あもめ まねくよ あへり。17 めねぼううおよび
まねくよ あまぐひ まけび て まけめく、その ひとびとく もりとも
まうま まきの まもぐまーと すくの まちを あまちくよ のがる
もの あり。18 めねぼううの まの まとくせーよ ばううこくぐと まく
おもひ まよ もりくと、され まくまくすとの あよ よしれ あ
まよめくと、めれ より まよと まひ まけられ まよまくまくまくまく

りぐり。 ¹⁹ おおめのあくとどものぞもととろのあうけのすぢよ
うせうきとまてばうろとしとととくこれをりちをよるやく
おふのあくよひきりがせり。 ²⁰ すぢよこれとつうさとよつれ
ゆきそりひけるへ、このひとひとゆだやびとよーとおあひよ
おれじのあらとまかー。 ²¹ わら口れどろまびとのくべりと
おこあふづうとぎるあとそーとつまからあり。 ²² おあせのゆの
どぬこぞりてのれとよまうとひまう。つらまどもんそのきもはを
もぎりりととこれとむちうまーめり。 ²³ おあくむちうらそのち
これをらうやよりれてらうむよめくあわれとめりゆ。 ²⁴ らう
むかへのくめりとうけとこれとおののらうやなりれのりあー
ケセよとそのあーをやまくあめり。 ²⁵ トありばうるとしと
りのりとあーのりやまくをかまびせよめーうじと
みちとををすとくまへるまく一ヶ ²⁶ まちまちおわひあるぢーん
ありそらうやのどがいあままれたれまとうととひとくひとけと
すべくのゆめくまうりとけり。 ²⁷ ううせんめまめとらうやの
すぐのゆめくまうりとけり。

とのひトウカタとまのねばりーうととすぢよかげーあとふと
おむひやくあとめきとおまうせふとせよ ²⁸ ばうるおあぐあよ
よをもりとりひけるへ、あんがまじうととあるあうれ、これ
よんきよこくよあり。 ²⁹ ううせんあうりとよびゆとあてそーり
りりばうるとしののあくよおのうきあー ³⁰ やねととそとく
つれりやーとりひけるへ、おまみゆらよ、これすくもれふよ
あふとあすべきう。 ³¹ やねとりひけるへ、まとあすをあんせよ、
さとばあんちおむひあんちのめだくゆすくもるべー。 ³² つりよ
めれとまこととをめれとすぐとそのりくよもるゆのとよ
めくねり。 ³³ そのよのそのときらうせんふくりのゆのとつれ
ゆきめねじのうちまをあとひふくらよのれおふびそのゆぞく
まをあげりとけり。 ³⁴ つりよめれととくまうじまくり
そのあくよおまくゆをそあくゆめめちうととよかまを
あふととようとびり。

²⁵ よあけよありとつうがとあくやくとつうじてりひけるへ、

そのひとびとをゆきよべー。³⁶ らうむんこのことをはうるよ
つけてりひけん、つらぎだぬあるがゆくとゆきつらを
せり。ゆゑよりゆりごとやすんでゆくべー。³⁷ ぱうろこねよ
りひけん、めれとひりゆきつまよがためとれぎる。めれとらまび
ととあともよむちうちをらうかよりねよりよひそりよ。めれ
ととりうがさんとするり。あうるづうじず、めれとミラうとさる
りてよれととつれりうすべー。³⁸ あうるやくこのことをつらが
とゆきつけければのれとものとまびとあともまくとおそれなり。
つりよきぐりとさうりとめれとよらうやよりりぞんことを
らう、めれととつれりうがへてあくあらとせんことをねぐへり。
さとあらりのものらうやよりりぞんをあのりくより
きやううのどもとしければこれをあざめでせれり。

第十七早

めとくまきのわとところなど、³あるこれととせんせんうすとれ
めあらすくまきとうけとそのあよりよみがへるべ事ひとと
あすも一めのよしあるやうつたるところのをすくはりすと
ありとひあらむせり。⁴そのうちのあるひとびとおもびあら
トルあるおもろのせりあびとあふとばうるとしうよつけり、
あるうのときをふかみすくあうとせり。⁵あらゆゆだや
ひともねづみとりよかわらむをるひるゆのじゆとひきりれ
ひひとあらそあらとひきりせあるばうるとしうととくと
こねとたまのあくよりよかみとせやそんのりくよおーおせーよ
めれととくのうめりけれり。やそんとすゑのまゆうめりとと
あらのつうきのあくよひきのうりよおもとひけり、⁶めの
てふくとくわくすのこゑはあくまゆれり。⁷やそんこひと
むうくさり。このとゆがとくあらせのめりよそむきてあすと
りくわらうのゆうありとひよ。⁸たまとあらのつうきとこひ
とのこひとまくとこれがくわよこゑうをあくまゆれり。⁹つ

さうもやさんとそのとあがくとのうけあひドやうとりてこれをゆきせり。

10 きやうすりうちたら きやうは うろと しらを べれあよ おくり
しき めれトのーこよりきりて ゆだやびとの うきりとうよ いれり。
11 そのひとびとにて 三ろにけの わの おりへ あきれる わのうを こわる
を そんぐまめよ ひだせり あふを さざれり。 12 ゆゑよ その うちの
おあくの もの あらせり、 あらきりあの くわとを
その あらせり ものも すくあうと ぎりき。 13 はれど て 三ろにけの ゆだ
やびとば うろげ めきの ことを べれあらむ のべー ことを 一り、
めーこよ のまこと たまと まもくせめり じうとせり。 14 こまよ おりて
きやうがりうちまきうま ばうるを うきよ ゆうーむ、 はれども しらと
ともせん あらめーこよと うされり。 15 ばうるを まちびまくら むか
どめれを あせんよ つれ の まーげ しらと てもそを すみやうよ
まくとーめるとの めりを うけて まくりせり。

16 ばうる あてんよ おりて カれトを あそぶ とき あらま ぐうさうの
まちまちと そそその こくうを うまく一めり。 17 この ゆゑよ めれ
くをのどうよ おりて ゆだやびと おふび あふとん あらひとびと
ろんを、 あるひとりうちよ おりて あふとくうの わのと うんせり。
18 ときよえびぐりびと おふびと いくびとの あらりくまーやす
めれと あとそひせり。 あるひとりひけまへ、 この あらぐる むか
あふそりも なと すまへ。 あるひとりひけまへ、 めれれこと
ある かまくらと つまくらの あとふと。 そんばう、 あすおよび
よまぐくりのことを めれとよの うーげ ゆゑあり。 19 つらよ めれを
ひき つれあれおせんよ ゆきそりひけまへ、 あらぢく りふとくうの
この あらじーき そーくん あふあふや かれと これと あら ことを
うふ。 20 あらじ ことある ことを かれと みよりれり、 ゆゑよ
かれと その あらじと あらうと あとふと うけす。 21 すべて あてんの
ひとおふび めーこよ やどねる うびとと なべ あらじーき ことを
つけ あらひく まくことよ の まその ひを おうれり。 22 ばうる あれお

ざんの あらよ さわそりひけむ、あてんの ひとびとよ、これあらち
トゲ すぐそのことよ わりそ かまくらを うやまわの ものを た
きを さる。²³ そん これ あらそと あらと とき あらがトゲ おぐむと
ちの ものを さーよ あらぎみの かまると わりうけむの ひとの
さりざふと さりざせり。これよ よりそ あらがトゲ おとせーと
おぐむ ところの ものを これ あらがトゲ あめさん。²⁴ それ うちう
と その うちの さふあつと つうりうら かまへ てふらの きを
あれべ てを もりそ つうりうる みやよ すと さすと。25 やう うら
うと すぐそのもよりのちと りきと ぶるもとと さうけ さす
くば ゆとむる ところ あらが だとく ひとの てなそ つうくとく
ものよ あとす。²⁶ あと ひとり あり さふこうの たまそ つうりそ
これそ ちの せんめんよ すすをせ、せり あそはめうる とせと その
すむ ところの さうひとと さすと さすと。27 そん さふげん
かまそ さうねそ めれトゲ あらひへ これと さうざり えふが さめ
あり。あらりとりへどの かまへ されと わの物の おりと あらトす。

²⁸ めれトゲ めれよ よりそ つう、うやま あら あらがトゲのる。あり。あん
ちうの うちの ある うやまゆみ。めれトゲ その すえ ありそ つひ
トゲ さと。29 めれトゲ かまの すえ あれべ、かまへ ひとの あゆう
とくあうそ ものそ さうざくさる せん、せん、りーの ひとそ ものそと
おもふ ざうトす。30 かま むくへ あらぎみの ときそ うの、ぐー
うまくり、されど うきへ うづくま おひそむ すぐそのは ひとよ うの
あとく まくら ことそ めひト さす。31 そい めれ すぐそ その まくー
ところの ひとよ ありそ うづーそそ もりそ おと さむく づき うら
あらそ さざめ、うら ことよ つうじへ めれを しより おき
くとせそ すぐそのもよ あらーを あらへ さすくへ あり。³² めれト
しあふの おさぎへりの ことを さむそ ある ものそ あざけり、ある
ゆのへ、これト あらそ ひ ことそ ある もよ さうふと うへり。³³ こまよ おりそ はうら めれトの あり おりそ せり。34 あられ
ども すあん めれよ つかて あらせり。その うちよ あれおざんの
さりを あん でおねおねおよび だまひそと あらへる きんを あり、

ある。わうのひともめれととともにあります。

**第
八
章**

こののちはうろあんをさりてこりんとすり下り、
²めーこよてほんとよむすれーあくとあげくるゆだやびとよ
あんり。ぐうでおすべそのゆだやびとよろをうちのくことを
そそとのりせーゆゑよめれんそのつまびりをきふとともよちう
ざろいたとめりきりーものあらばはうろそのゆとより
れり。ばうろめれととめぎやうをねあじふすよより、こねと
ともよとどありともよトケリ。そのめぎやうんてなあくつくり
あり。⁴ばうろんあんそくあちだとよくきのどうよおのそろふト
めくゆだやびとおよびきりおあびとよあんずることをすきり
しとておてまけどにあよりきりーときばうろをくーんを
つまゆることよこうろをこトーとゆだやびとよあすんきりすと
ありとあうーせり。⁶されどゆだやびとこれよさうつかてけヶせ
くよよりばうろきみれをあらひてりひけり、あんちとのち
あるちとのめうべよきすべー。そのとくよつりくらにこれ
りさき

よー。こののちされいとんよゆうん。7つりよばうろきみれを
さりてあきとおぐむゆのよてゆをとくあげくるひとのりくよ
りなり、そのりくねくきのどうのとありよあり。⁸きり連ほと
りくらくきのどうのつらとそのめありちうとともよきみとあん
せり。あるどりんとのおあくのひとをくーんをきくあんとてあげ
めをうけさり。9さてようまごうよおいてばうろよりひ
けり、おもふくあられ、ゆくやかまーとめづれ。¹⁰そんだけある
ちとともよあくよよりうれむあんちをせめをがりすることを
え、このあらよきだたとおあければあり。¹¹こくよおりて
ばうろいちねふとろくらげりのあらよめれとのあらよとくあ
りとかきのこととをそくへり。

¹²めーおあかやのさりくさんさりーときゆだやびとこくらをあも
せそばうよさりトひおこりめれをさりゆふーもよひきりよ
りそりひけりん、¹³このゆめれおきをよそゆくあうとをゆりそ
かきとおぐむことをひとびとよすく。14ばうろくちをひト

うふと セー とま せり おゆだやびとよ りむ けくら、ゆだやびとよ
ゆー ふぎ あらひへ よもーゆの こと あトバ やれ あらひトを 無の
あら ことなりあり。 15 やれど ことを、あ、あらひへ あらひトの
おまくは つりもの ろん あトバ あらひト 三げくと これと おまくの
べー。 やれん めぐの ことき ことの さをまかん さくまよ あトキ。
16 つりよ のれトと さのむるよ あり おひ いだせり。 17 こまよ
おりて ひとびと さあくきのどうの つりきを せてねと とトへ さり
をんーよの あくよ おりと これと もちうせり。 あうれどゆ せり おん
これとの ことを すくー ク こまうよ めけきりき。

18 ばうろ ひきーく めーくよ とげきりそ のち さやうだりどくよ
さうねと つけと びりせきと おもひ あくと とともよ せりあよ ゆうかと
おゆのせんせり。 やれ うせん ありーぐ ゆゑよ けんくれあよ おりと
その くみの けを まきりまき。 19 やれト 元巣 そよ くまくま
まうろ あうりと ウーくよ とくめ おき 三げうとく くまくま
りりと ゆだやびと くろふせーヶ 20 ひとびとのれよ ひきーく とくめ

ト え ことと ねぐらーうじゅ これと うけが せきーと のれトよ こく
れと つけりひけりへ、 21 「 やれん きまくとん とする まくりと ある 三き
むよ おりと あもト せきと とく。 されど 」 わきのみ まくろよ めあ
そば 口れ あく あんぢよ めくとんと。 つりよ 元巣 そよ あゆの
せんせり。 22 やれ めいざりあよりまくりと ある さき むよ のがり きやう
くさのよ やすきと とくと のち あんて おきあよ くざれり。 23 ばうろ
めーくよ とくのる こと ひきーくじ まくーと あくと とくめ おもトで
あの ちと ある さあと つぎり ぎよ と おりと すぐの でーとを
めくふせり。

24 あをきさんてりあよ むおれー ゆだやびとくと ベふきり あり めう
せの あもよ こりーうる あほろと あげくら ひと 元巣 そよ りく
れり。 25 やれん めくと きまくの まくの とーくと うけ めく こくうや
あうかー まくよ はねの あげめを ある のまくと あすの ことと
つかび つりよ めくと まくと あくと うれと まく めくと
とくめくと あくと あくと うれと まく めくと

わらくそかきのまちをあわもつあびとうよと。ありせり。²⁷その
のちあはるあめやゆうんとわにせうべきぬうびりともあみを
おこりてでしゅうよめねとうけんこととすめり。めれすくよ
りうりてめぐみよありあらすらゆのどくとおもひよくすけうり。
²⁸けうふとあればめれせりあよをひきとあすらきりすとある
ことをあともーひとびとのまくまとねうりよめだやびとをりひ
あせうれじあり。

第十九章 あはるのこりんとまをうときばうるひげーのゆきのちを
へそえ産そよりうりあるべいどもあらそ。これよとひける
れ、あらぢよあらじとてきよきみくすとうけーや。めれうりひ
けくら、きねうらきよきみくすとあることとめくらせり。ばうる
りのけくら、さトばあらぢとげあげめとうけーへあくよるり。
こうへけくら、よはねのあげめよる。ばうるあくりひけるら、
よはねんくらあくらめのあげめをわどくーたまむりかと、きく
あとよきくらふとするものすあらちゑすをあらせるとりへり。

⁵めれとこれときくきくをあきのあよめりをあげめとうけり。
⁶ばうるてとそのうくよおまければきよきみくあこねよくざる。
こくよおりてめれとくあぐやのこととくとめくらめりよがん
せり。そものひとびとくあをせておよをあうふんありき。

⁸ばうるくきくよりりもううとせーてめくらかきのまくり
ごとのことをろふとめらすくめてうのまをへり。そもの
うちのあるものめくらあくとてあらせす、おもせりのまくよ
おりとそのまちをそーりければうるめれとをあれあくでー
をもきうれなきせそひじてめれとりくらひとのめうとくよおりそ
ろるせり。¹⁰めくのごとくすることあねふよおもひーうべああよ
きけり。¹¹かとばうるのてよよりてきくあじぬあーぎとおこあひ
きくり、¹²すあらちはうるのめくよよりてめくらめあるひへあく
がれととりてひやうあよつけられやおひもあれとあくすも
のをきれり。

とまよはだやひとのあらへをめぐるところのあトあひトや
あくよよりうられらるゆのよむらひこころみよきとあすの
あをよびてりひけり、さればうらぎのがるところのあすよ
よけをあるぢよりでんことをめりせ。 ¹⁴ だらさうりーある
せけじとりくらゆだやびとのもすあらうふんありてこれをおこ
あひー ¹⁵ あくよこくしてひけり、これゑすをある、あく
ねうるひとのれとのうよおどりあぐりあくりよめらしこれを
おーあせけらればやれときすりけられもだうよてそのりんより
のぐれり。 ¹⁷ このことえ産そよくるすぐそのゆだやびとくぎり志
あびともよ志れーうべおそれすぐそのゆのくろうよおどりそ、
きそゑすのあねわひよあぐめトねり。 ¹⁸ あるぢーゆのく
うちおろくまくらさんせーそそのおこあひといひあともせり。
あるまほくをつうひーおわうのゆのもそのちよあくをあらめ
りとびとのまくよおりそころをやけり。そのあひのとめぞくそ

さんざまんあるをあれり。20 ほどのことを まつまつ ひろめりそ
めちと うることの ことの こと。
21 これとの ことすばよをそりへうばはうる まけどにあと あかやと
となりて あるをむよゆうふと こもくと さざめそりひ けみ、
それからこよゆかして のちの あとすらまをあとすれん。22 こよよ
おりて われよ つらゆるもの あひりすをもちて もてとえせのとと
まけどにあよ つらきして われれん おがくとく ああよとく あれり。
23 その ころ この まちの ことよ つひそ おもひ ある まもき ねと
れり。24 でめりおと あぐくの ひそりの ぎんぐりくわん あり、
われら あるてみの ぎんぐりくわんよ おど
とと あぐくのこと すくあくと ぎりき。25 いす その まくらくわん
どと これよ まくらくわん かぎやうの まくらくわんとと おびあう
めそりひけり、ひとびとよ、これうが、この ゆがゆうよ よりそ
りえをと うることの あるとくわん。26 その はうう
てみて つくりて わらわら かまよ あとすと ひかく かく えをそよ

おけるのとあと手、あとなどあああぢうのねううのたとをすみめ
わらあどをせり、これあくあんぢうのとるところまくところ
あり。²⁷ これよよりてこれらとのめぎやうひとよりやーめとく
あやうきあるのとあと手、ねそくさんあああぢうねそくびである
ぐのものとねぐむところのねうひあるをもあぐとあるてみの
みゆゆあくせすれわらそのあううもううがん。²⁸ めれとこれと
きくねうひよりうりとまけびりけん、え廻そびとのあるてみん
ねうひあるゆあ。²⁹ あちのひとびとろぞりてさそぎこちばうるの
みちうれあるまけどにあびとのせよとありますたることとくへこく
うをあそびてをもあもよそしりりれり。³⁰ はうろひとびとの
うちよりうんとわいせしよでくどむこれをゆうまうめりき。³¹ あく
あああめうりとあはりもつうきすあんくはうろのやうゆう
ありしぐめれよひととつうもしく、ミゲりとあももよじる
あうれとすみめり。 ³² そのときあるひとくこのこととりひ、
あるひとくのこととりひさけぶ・そんあうよりミゲれとねう

うううあんのうめよあつありしきとあうざれり。 ³³ こくよ
ねりとゆだやびとあききさんてるとさきよすうおせてあるひと
びとねうせりのうちありこねとつれきくりよあききさん
てるちあねーてひとひとのあくよりひをけとあくふとせしぐ
めれとそのゆだやびとあうとありとねうをふトのあひと
さあどうあんよとえ廻そびとのあるてみにねうひあるゆあと
さけびあくり。

²⁵ あちのあくせくひとびとをあげすうせとりひけり、え廻
そのひとびとよ、あんびとえ廻そのあちのねうひあるあるてみ
ねそくびせせよよりねうひととくのすぐくよつくりふることと
あとうきる。³⁶ ゆゑよこれとのことくりひけとをくふことあねば
あんぢうあくらよとあふどどくもそやよりあすづらくす。³⁷
このひとびとみやのめおとめすくーすもあと手、こねとの
かとをけげせしゆのゆあと手、あうよあんぢうれこれとこく
よひきまくられり。³⁸ これよよりてもしめてめりおねそくびめれと

とある さりとあらども ひとつ うけたまること あらべ さり
をかへよあり、 めり さりとあらも あまよ よりそ うげひよ うけ
くふべ。 ³⁹ あらぢと もー わうの ことよ つりそ もとむること
あらべ おきとよ めあふ ありありよ わりそ これと さざむべ。
⁴⁰ されとけふの さもぎよ つりそ うけたまくねん ことと あや
ふむ。 そん この うかとうせー ことよ つりそ いみ ひとくづき
よー あければあり。 ⁴¹ めく めくと その あうおりと ちくせり。
第三十一章 さもぎ やまと のち ぱうるで しどもと よび めねとを
すもめ めく こられと つけそ まけどに あよ ゆうんとそりそ うち
うり。 ² れ その あよもとと とわり ひとびとよ おなうのす
めを あーと のち ざりあよ こくとせーと きゆだやびと れを がり
れり。 ³ のち せりあよ こくとせーと きゆだやびと れを がり
せんと ちくりければ まけどに あそと となりそ めくとん ことと さざめ
うり。 ⁴ れと ともよ 「あああよ」 ゆきー ゆきー ぶろの むすおある
べれあの そばてる、 てきろに けびとの ありせたること せぐんど、 てるべれ

せよと ともて、 おもび あああの てきこと とろがも あり。 ⁵ れと
さきよ ゆき とろあせよ りりりそ されと まそり。 ⁶ されと
はなんね あき はなんの りそひの のち せんび より おゆの せんそ
りのうめよ とろあせよ りりそ されと あゆそ あゆそ めーそよ
とぞあれり。 ⁷ ひとまぞりの もとめの ひよ されと はなん と さく
さめよ あうありーぐ ぱうらに あくら ひりそ くもんと すみよ
ひとびとよ せのせやうそ よあうよりくら まそめくそり つゞけり。
⁸ されと あうありーぐ あうありーぐ うくの ざーきよ おなうの ともーび あり、
あらもよ ゆとこと あぐくら ひとりの こらもの あどよ ざーあそ
あゆそすりせーぐ ぱうらの せのせやうそ こと ひくそり
ければ つゆよ ねむりよ よりそ さくらの おり わり、 これと おこうせ
しよ すぞよ あよ あくら。 ¹⁰ ぱうら そざりそ その うくよ あー
れと おきとよ りひけり、 さもぐ あうれ、 めの
りの うち その うちよ あり。 ¹¹ ぱうら ある のがり はふと さきそ
くそひ おの あくもよ いする あそ ひきく めくとよ つりよ そ

さうなり。 ¹²ひとびとその まうき ものをりまくる あくまげきへ
まうりて おうひよ あぐめり。

¹³ めれど あそひて ばうるとうけんと おもひ あら ふねよのりと
その まうよりうる。 そい ばうる そぐうど めちふを ゆうんと
あひして まく まぐめり あり。 ¹⁴ めれ あそよ おりて まげどよ あひ
ければ まれど めれと のせと みてきねよ ゆき、 ¹⁵ めーと より
おゆのをんと あくこひきおの むうかよりうる。 あく つぎのひ
さもよ つま とろぎとおよと ありそ、 つぎのひみきとよりうれり。
¹⁶ ばうる ああよ おりて ときと つひやま あねよと えむそと すぎ
ゆうんと まうと まぐめり そい ある づくら どとうあらめのひよ
ある さきむよ まうん ことと あひして いをさうれり あり。

¹⁷ ときよ めれみきと ありひとと えむそ つうもーと まきやう
くきりの とーありどゆと よべり。 ¹⁸ めれど まくまく うば ばうる
これよりひけり、 まく もどめ ああよ まくまく ひより つねよ
あんぢとの うちよ ありそ いうある ことと おこあひ うれ あんぢ

との まうと まう あり。 ¹⁹ すあもち まれ まもも へりくざり
あまざと あぐー あく ゆだやびとの まれと がりせんと まうり
と まうの まうまよ あくと まくよ つうん、 ²⁰ めの えまよ ある
ことと まれ ああを めくき まーと ひとびとの まく あく りく
りくよ おりて あんぢとよ のじ まーん、 ²¹ めく カまよ むうひと
まく あくま べき ことと まれ まく まく まく むうひと あんす
べき ことを ゆだやびと ねあび ざり あびとよ あうーせり。 ²² まよ、
まく あふ と まうの ことと ああざと あくと まく まく おりと
まく みくは あくめと あやと まれと あくと すべの あらよ
おひて まれよ あくしと。 ²⁴ あうれども まれ まく べき まくと
まく あす あり うけー つとめ すあもち かまの めぐみの あく
りくと あくー することと とくら まめ まく まく いのちと あふ
と あ おももす あく おーおぎる あり。 ²⁵ まよ、 まれ まくと
あんぢとの うちと まく まく まく まく まく まく まく まく まく

りま これと ある、あんぢト まあ こら の のち あくび さげ めるを
えぎる べ。 ²⁶ ゆゑよ これけふ あんぢト よ あうーす、これ
すぐもの もの そ もよ つりそん りきざまふ。 ²⁷ そん され かこの
むねと ことどとく あんぢよ の ある ことと いおぎりーよ よりて
あり。 ²⁸ その ゆゑよ あんぢト さげうと へくーめ、から きよき
みよきの あんぢと そとく めんとくと あせーと ところの むねぢう
をつまーみて かこの おのぐちを もりて ひく さあひくら きゆう
くをりと やしあん。 ²⁹ これ ある、ひげ さりと のも むねと ねーあ
ざる むでき おあうと あんぢの うち よりくん、 ³⁰ めり あんぢ
との あり より もとる ことと いもん。 ³¹ この ゆゑよ あんぢト きを
せん と そり よ もとる ことと いもん。 ³² この ゆゑよ あんぢト きを
つけて これ さんねんの あひと よる ひる やめモ あそだと あぐ
と あんぢの おの のの と いさめー ことと こくうよ とめよ。
りあ これ あんぢと どざりの うよ と あひ すぐの きよめ
とれぐる もの うち よ おりと めとくと あくふる ちうと ある

かき おあび その めぐまの こととよ あんぢと ゆづぬ。 ³³ これ
ひとの きん ぎん りあくと むさがりー こと あー、 ³⁴ ここの てん これ
おあび これと ともよ ありー もの、 いり ようよ そあくふると
あんぢと あれり。 ³⁵ これ あんぢ めぐまの ごとく そあくふると
おもき ものと くすく べき こと あー あくふる うくる よりよ
ああ さりをひ ありと きみ あすの さげうと ひく さあひー こと
を こくうよ とむ べきと すぐの ことよ おりと あんぢよ
あめせり。

³⁶ はうろ めぐりひ をもり ひきあげきと その すぐの ものと
と ゆよりの れり。 ³⁷ めれト まお おあひよ あき ばうろの うびと
り うき これと くらひ けて、 ³⁸ あんぢト ここの のち そく めあひ
と ぎふ べーと めれひ りひー その ことの くめよ いふく うれひ
くみ めれと あね あで うあくれり。

第二十一章

まつすぐよ もーりと こおよ いふる。 つぎの ひろとよ ゆき、 そく